

人との出会いを
生み出し続けてくれる
トレイルに感謝

いわさき あきこ
岩崎 昭子さん

浜辺の料理宿 宝来館 顧問

昭和31年、岩手県釜石市生まれ。
岩手県釜石市根浜海岸にある1963年創業「宝来館」の女将を卒業し、
現在は顧問を務める。

宝来館は、7歳の時に両親によって創業されましたが、毎年、夏には根浜海岸へお店を出しており、かき氷販売を手伝うことがありました。その当時の根浜海岸には、白砂青松の美しい砂浜に沢山のお客様が海水浴を楽しんでいる風景があり、私の原風景です。東日本大震災では根浜海岸に津波が押し寄せ、付近の集落は壊滅的な被害を受けました。しかし、多くの方々の支援により、翌年には宝来館の営業を再開し、旅館裏山には「いのちの道」として実際に多くの命を救った避難路を再整備することができました。震災を乗り越えて気がついたことは、三陸の魅力は美しい自然風景だけでなく、そこに住み続ける地域住民と利用客との出会いの風景がないと成り立たないということ。「人」が三陸の美しい景観を造り上げていると思います。

トレイルの開通により、ハイカーがこの地域を選んで歩いてくれることが嬉しく、出会いの機会を生み出し続けてくれることに感謝しています。地域の方々がハイカーにいらっしやいと声をかける風景が当たり前となり、それを見た子供たちが、ハイカーと積極的に交流するような好循環を生み出せばいいと思います。私がかつての賑やかな根浜海岸を残し続けたいと思う心と同様に、ハイカーと地域住民との触れ合う風景が、子供たちにとって故郷の原風景となり、その原風景を残し続けたいと思う心が育まれることを願います。



昭子さんにとって小さい頃から身近な存在である根浜海岸。白い砂浜に松林がセットになった景色が大好きだと語ってくれました